

座談会【教科「音楽」の存在意義を考える】開催のお知らせ

日本音楽教育学会

日本音楽教育学会では、教科音楽の必要性を社会にアピールしていくために、昨年度より会長諮問プロジェクトを立ち上げ、複数回の検討を重ねて参りました。その一環として、このたび、下記のような座談会を開催することになりました。この座談会は、他の芸術教科や学校運営、そして教育行政の立場にある方々から、教科音楽の存在意義、学校教育において果たしている役割、あるいは今後の音楽科教育に望むことなどを客観的かつ率直に語っていただき、そのなかから教科音楽の必要性をとらえていこうとするものです。

みなさまのご参会をお待ち申し上げます。

日時：平成27年6月13日（土）午後3時～5時30分

場所：学習院大学北1号館201教室

（東京都豊島区目白1-5-1 山手線目白駅徒歩30秒）

座談会メンバー：

1. 芸術系他教科の取り組みと他教科から見る「音楽科」を語る

辻 政博氏（帝京大学教育学部准教授 元全国小学校図画工作教育連盟会長）

2. 学校における「音楽科」の意義を語る

菅野武彦氏（杉並区立向陽中学校長）

3. 教育行政の立場から「音楽科」の意義を語る

三田一則氏（豊島区教育長 元東京都公立小学校長）

司会：伊野義博（日本音楽教育学会副会長 新潟大学）

参加費：無料

同日、上記の座談会の前に「関東地区例会」を開催予定です。詳細は学会 HP に掲載します。